



《現状把握》

「協同的な学び合い」の授業を推進して5年目となる。共有（身に付けたい基礎）の課題と発展的な課題を1単位時間の中に設定し、学力向上だけではなく、コミュニケーション能力の向上も目的としている。現3年生は1年次から校外学習や林間学校などを通してプロジェクトを立ち上げ、取り組みを行ってきた。アンケートの項目にはないが、(59)~(62)の項目は全国の平均を大きく上回っている。

《授業改善のポイント》

これまで本校が取り組んでいた「学び合い」の質の向上を図るとともに、基礎・基本の定着を図っていくことが求められる。

- ① 「学び合い」の質の向上
  - ・ 授業の技法について、校内研修を通して教員同士で意見交流し、日常の授業実践につなげる。
  - ・ 「主体的で対話的な深い学び」を意識した授業デザインを構築し、生徒に還元していく。
- ② 「基礎・基本の定着」
  - ・ 自己の学んだことを表現する機会を増やすことで、何を学んだかを明確にし、知識を内在化していく。

《チャートの特徴》

- ・ 昨年度と同様に、全体的にバランスのとれたチャートとなっている。
- ・ 昨年度の都学力調査の本校と東京都の「B問題」に対する平均値に大きな差があったが、今回の「B問題」では東京都の平均と差が埋まった。  
 (国語【H28都学力調査：52%/本校・59%/都】【H29全国学力調査：74%/本校・74%/都】)  
 (数学【H28都学力調査：30%/本校・37%/都】【H29全国学力調査：48%/本校・50%/都】)
- ・ 全国の平均値に比べ、自尊感情や学習習慣の数値が下回った。

《家庭・地域への働きかけ》

家庭学習習慣の定着をねらいとして「家庭学習ノート」の取り組みをしている。また、学習方法の参考として「家庭学習のススメ」を発行して具体的な学習方法を伝えているとともに、学期末には今後の授業や家庭学習のポイントを明確に示している。